

女性活躍推進行動計画について

学校法人東京聖徳学園では、女性が就業継続し活躍できる雇用環境の整備を行うため、下記のとおり行動計画を策定しています。

1. 計画期間 令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 13 年 3 月 31 日

2. 現状

現状では女性職員について、採用時の男女比率 67.4%(全国 27.6%)、管理職比率 39.8%(全国 21.1%)、育児休業取得率 100%(全国 86.6%)については全国平均上回る結果となった。今後の課題としては、前回計画と同様に、女性管理職の育成を継続して行う必要があること、男性に対する女性の平均勤続年数が 70%以下の職種の比率向上、育児の両立支援制度を検討・導入し利用を推奨していく必要がある。

3. 目標①

課長相当職の女性管理職を育成し、管理職に占める女性割合 30%を維持。

<取組内容>

令和 8 年～ 自己申告による職員のキャリアについての意識調査を継続して実施する。
女性管理職候補者には外部研修への派遣等を実施し、キャリア意識の醸成を図る。

目標②

男性職員平均継続勤務年数に対する女性職員平均継続勤務年数の比率 70%を達成。
(現状 62.8%)

<取組内容>

令和 8 年～ 生理休暇の有給休暇取得等、年次有給休暇を取得しやすい制度の検討、女性職員の健康管理について研修を実施する。
また、妊娠を契機に離職が多い職種については、引き続き出産休暇、育児休業及び育児短時間勤務等の諸制度について周知し、制度利用を推進していく。

目標③

女性職員の育児休業取得率の維持(90%以上)及び男性職員の育児休業等取得推奨のための施策を実施。

<取組内容>

令和 8 年～ 育児目的休暇制度を導入、制度に係る説明会等により周知し、特に男性職員の制度利用を推進していく。

以上

女性の活躍の現状に関する情報公開

令和8年5月現在

- ① 採用した労働者の占める女性労働者の割合・・・62.8%
(教員75.6%、事務職員40.0%、非常勤教員50.0%、パート他78.9%)

- ② 管理職に占める女性労働者の割合・・・39.5%

- ③ 男女の平均継続勤務年数の差異

(年数)

	女性(A)	男性(B)	(A)/(B)
専任教員	9.0	13.3	67.7%
専任職員	16.3	21.4	76.2%
合計	10.8	16.3	66.3%

- ④ 男女の賃金の差異

	男女の賃金に対する 女性の賃金の割合	対象期間:令和7年4月～令和8年3月
全労働者	84.1%	
正規雇用労働者	82.4%	
非正規雇用労働者	85.4%	